

令和4年12月26日14時00分
近畿地方整備局
和歌山河川国道事務所

ありだ かいなん
国道42号 有田海南道路
令和5年2月19日（日）に開通します
ありだ
～有田川に新しい橋が架かります～

○国道42号 有田海南道路（延長9.4km）において、有田市野～新堂間（有田川渡河部）の延長0.2kmが、令和5年2月19日（日）16時頃に開通します。
また、開通を記念して、地元関係者の方々をお招きし、開通式を開催します。
○なお、橋梁名称は地元市である有田市からの要望を踏まえ「有田サンブリッジ」に決定しました。

■開通情報

- ありだ の しんどう ありだ
○開通区間：有田市野～新堂（有田川渡河部）延長0.2km
○開通日時：令和5年2月19日（日）16時頃

■主な整備効果

- ①安全・安心な通学の実現に寄与
- ②救急搬送の道路ネットワークの強化
- ③災害時の交通機能の確保

■式典概要は別紙1

<取 扱 い>

<配 布 場 所>

近畿建設記者クラブ
大手前記者クラブ
和歌山県政記者クラブ
和歌山県政放送記者クラブ
和歌山県地方新聞記者クラブ

<問 合 せ 先>

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
副所長 かわしま たかひろ 川島 隆宏 （内線 206）
計画課長 なかむら よしまさ 中村 佳正 （内線 261）
TEL 073-424-2471（代表）

事業の概要

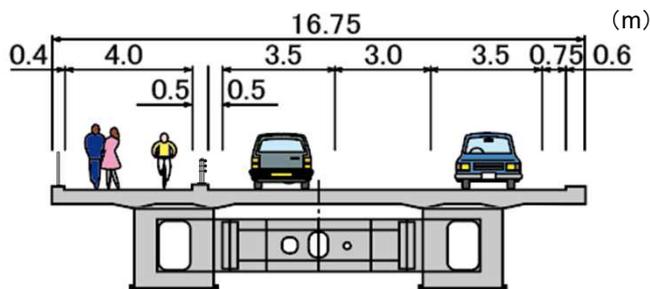
国道42号有田海南道路は、有田市から海南市の交通混雑の緩和、交通安全を確保するとともに、東海・東南海・南海地震同時発生時の津波浸水区間を回避し、災害時の緊急輸送路の確保等を目的とした道路です。

今回、有田市野から新堂間(有田川渡河部)の延長0.2kmが開通します。

○事業経緯

区間	(起) 和歌山県有田市野 (終) 和歌山県海南市冷水
道路延長	9.4km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	8.5m~16.75m
事業化	平成20年度
用地着手	平成23年度
工事着手	平成27年度

○開通区間の標準断面図

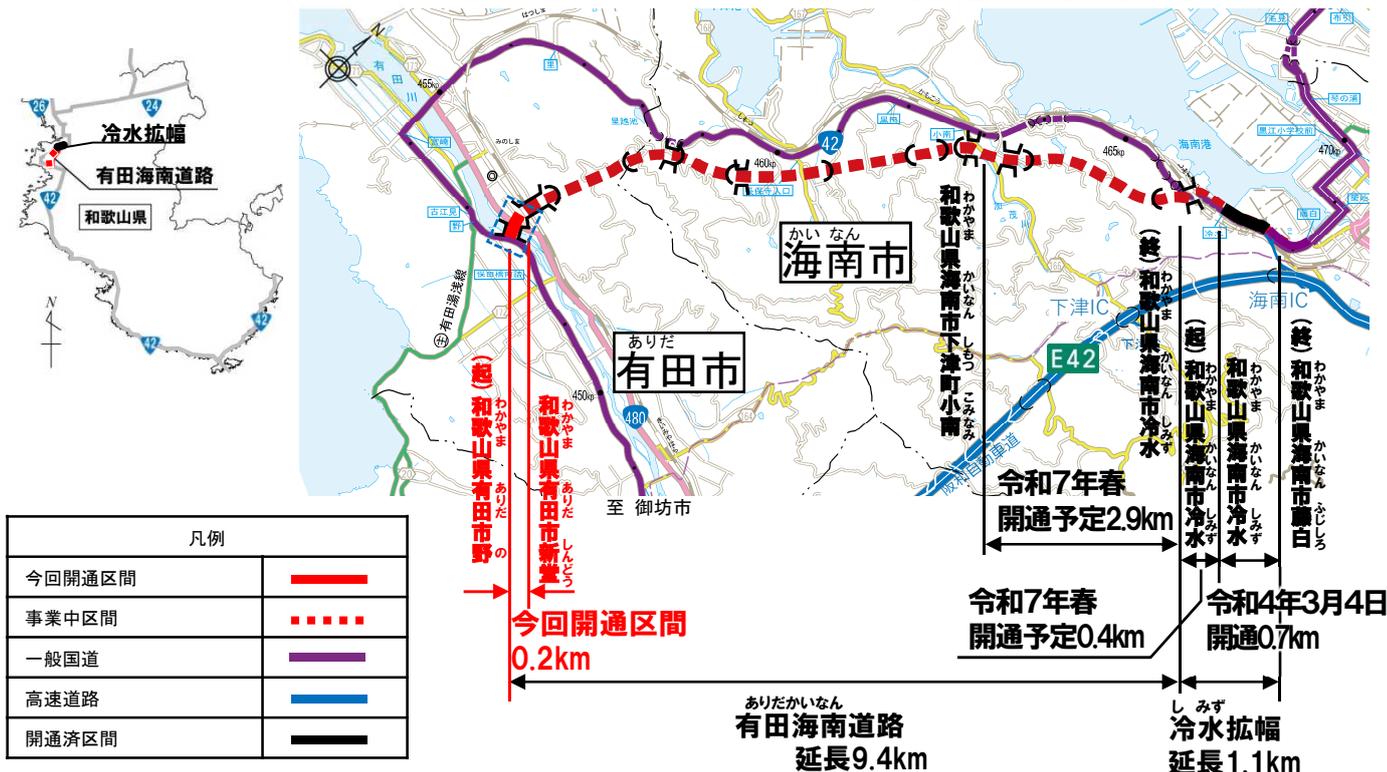


○拡大図



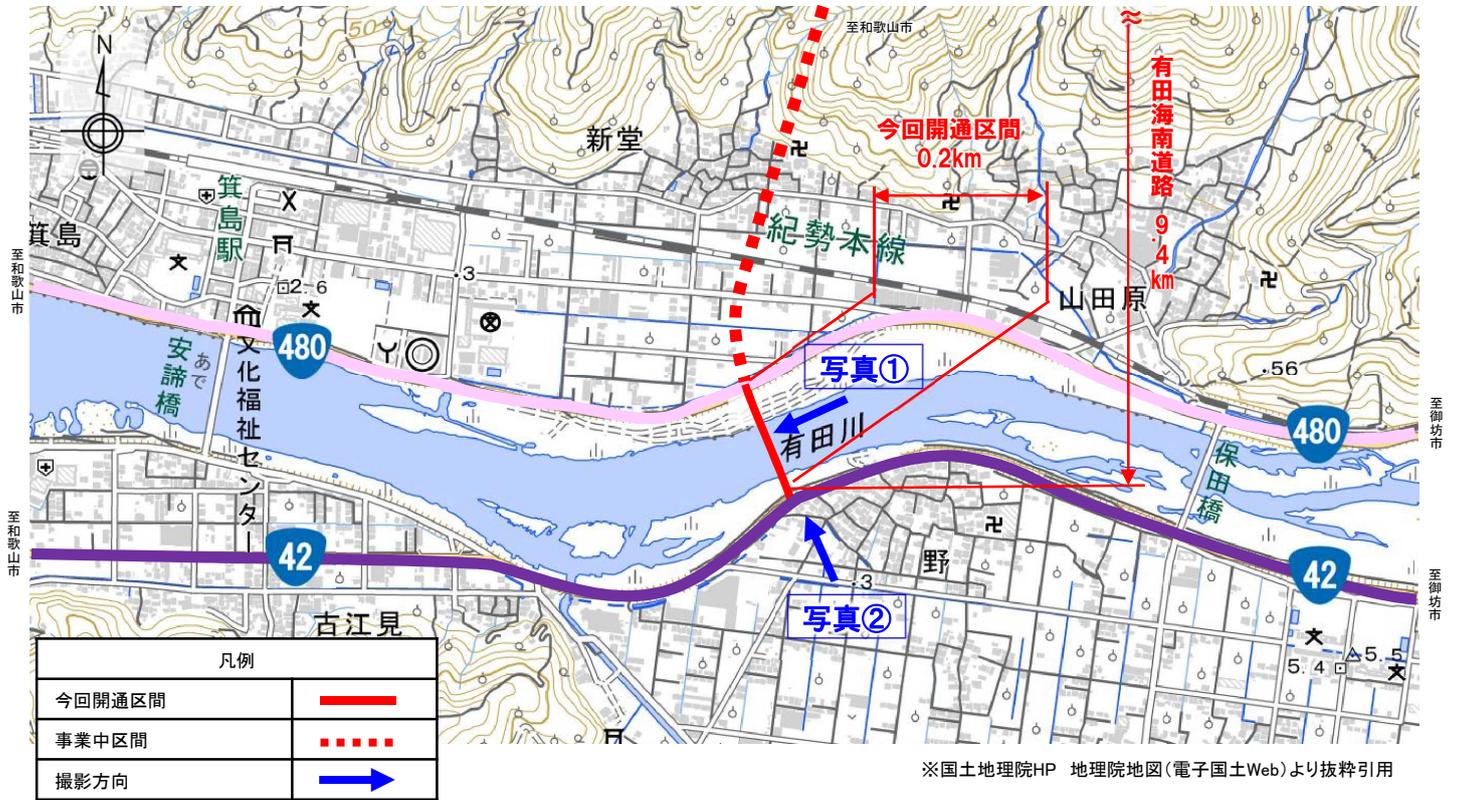
※国土地理院HP 地理院地図(電子国土Web)より抜粋引用

【位置図】



現在の現場状況

【位置図】



写真①



写真②



○式典概要

1. 日 時 令和5年2月19日（日）15時00分開式（14時00分受付開始）
2. 場 所 ありだ みのしま ありだ みのしま
有田市立箕島小学校（有田市箕島155）
3. 共 催 国土交通省近畿地方整備局、和歌山県、国道42号・ありだかいなん有田海南間整備促進協議会
4. 取 材 ・報道関係者で取材希望の方は、【別紙2】「報道関係者へのお知らせとお願い」
をご参照ください。
5. コロナ対策 感染症対策として、3つの密（密閉・密集・密接）を避けて開催致します。
・密閉対策：会場の定期的な換気の実施
・密集対策：前後左右席は十分な間隔、密にならない受付設定
・密接対策：会場内のマスク着用徹底、消毒液の設置
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関係者のみでの開催とさせていただきます。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、延期・中止する場合があります。

国道42号 有田海南道路 有田市野~新堂間開通式 会場位置図

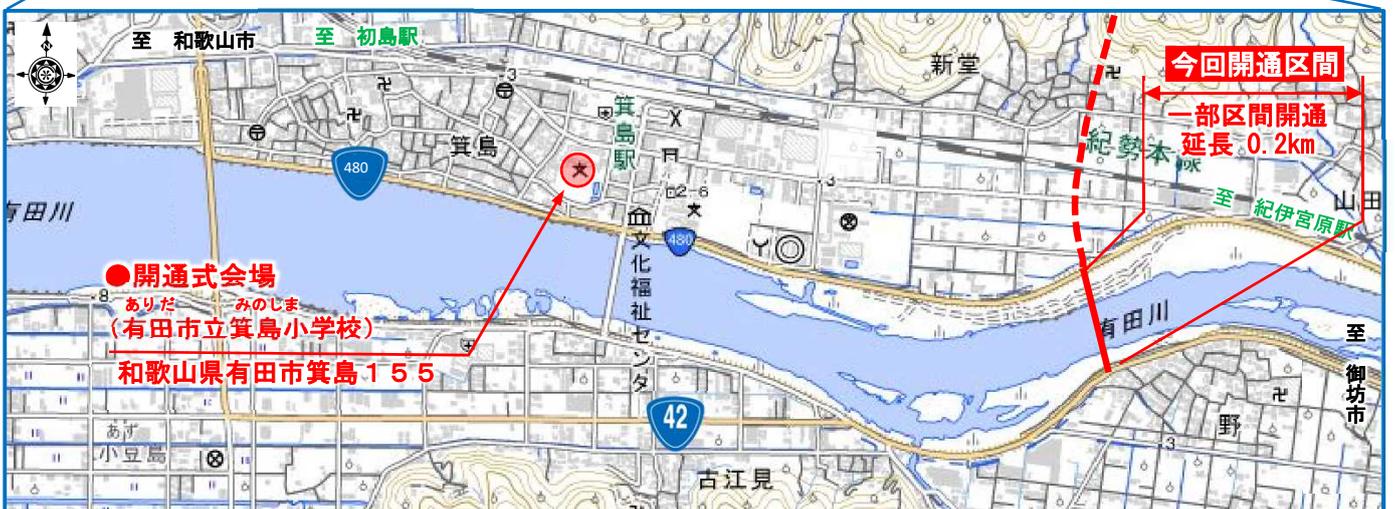
<開通式会場>

【14:00受付開始 15:00開式】
 『有田市立箕島小学校』
 (和歌山県有田市箕島155)



【開通式会場位置図】

- 凡例
- 今回開通区間
 - - - - 事業中区間
 - 国道
 - 主要地方道
 - 鉄 道
 - 開通済み区間



報道関係者へのお知らせとお願い

◆国道42号 ^{ありだ かいなん}有田海南道路^{ありだ の}有田市野^{しんどう}～新堂間開通式

日時：令和5年2月19日（日）15時00分開式（14時00分受付開始）

会場：^{ありだ}有田市立^{みのしま}箕島小学校
^{わかやま}和歌山県^{ありだ}有田市^{みのしま}箕島155

タイムスケジュール（予定）

14：00 受付開始

15：00 開式

共催：国土交通省近畿地方整備局、和歌山県
国道42号・^{ありだかいなん}有田海南間整備促進協議会

◆国道42号 ^{ありだ かいなん}有田海南道路^の有田市野^{しんどう}～新堂間開通式に関する取材について

- ・取材にあられる報道関係者は、以下の事項に十分留意して頂き、行事の円滑な遂行にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

【事前登録】

- ・取材を希望される方は、2月10日（金）12時までに下記のいずれかの方法により事前登録をお願いします。

＜電子メールによる申込＞

メール本文に①社名②参加人数③参加者の氏名（同行者含む）④ご連絡先（住所・電話番号・FAX番号）⑤駐車券の郵送先（住所・電話番号）⑥車両台数⑦車両ナンバー・車種・車色を記載のうえ、kk-goiken-wakayama1@gxb.mlit.go.jp までご送付下さい。

＜FAXによる申込＞

別添のFAX申込書に記載のうえ申込書に記載のFAX番号までご送信下さい。

【留意事項】

- ・当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用していただきますよう、お願いいたします。
- ・式典会進行上の都合により、内容・時間に変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。
- ・写真・VTR撮影は、所定の場所をお願い致します。所定の場所以外での撮影はご遠慮下さい。
※撮影場所については、当日ご案内いたします。
- ・式典会の進行に支障を及ぼしますので、開通式の出席者への直接的な取材はご遠慮下さいますようよろしくお願い致します。
- ・今般の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、取材については各社1名（+撮影者1名）とし、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」等の感染症予防対策にご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

総務課 ^{なんじよ}南所、^{ひがした}東田

TEL 073-424-2471（代表）

取材 FAX申込書

和歌山河川国道事務所 総務課

国道42号 有田海南道路有田市野～新堂間開通式担当 宛

FAX番号 : 073-436-6231

社名	
参加人数	名
氏名 (ふりがな)	氏名 所属部署名称
同行者氏名 (ふりがな)	氏名 所属部署名等
連絡先	郵便番号 〒 住所 電話番号 () FAX番号 () E-mail
駐車券の郵送先 (連絡先と同じ場合は 無記入で結構です。)	郵便番号 〒 住所 電話番号 ()
車両台数	台
車両ナンバー	ナンバー : 車種 : 車色 : (記載例)和歌山300わ1234

- (1) 参加者全員の氏名を記入願います。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、以下の点についてご注意ください。
1. 人と人との距離の確保 (約2m)
 2. マスクの着用
 3. 会場入室前の手指消毒の実施
 4. 発熱等、風邪の症状が見られる場合などは、来場をご遠慮ください。
 5. 取材及び傍聴の方の身分証明のお願い
 6. 取材については各社1名 (+撮影者1名) でお願いいたします。
- (3) 当日までに「駐車証」及び「駐車場案内図」を発送する予定です。

【お問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所
総務課 南所、東田

TEL 073-424-2471 (代表)

※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。【2月10日(金) 12時締切】

橋梁名決定の経過

地元市である有田市の要望を受け、下記の橋梁名に決定しました。

有田市は、この橋梁が皆様に親しまれるものとなるように、市民等広く橋梁名称を募集し、選定しました。

橋梁名称：有田サンブリッジ

※カナ読み「アリダサンブリッジ」

【由来】

この橋は、有田川河口にあり、朝は昇る朝日に照らされ、夕方には朝日夕陽百選に選ばれている美しい夕陽が見られます。

この太陽に照らされる橋を「サンブリッジ」と名付け、有田市が太陽のように未来に向かって輝いていくことを願うものです。

写真①現場の写真(朝日)



写真②現場の写真(夕日)



写真③銘板の写真



期待される整備効果

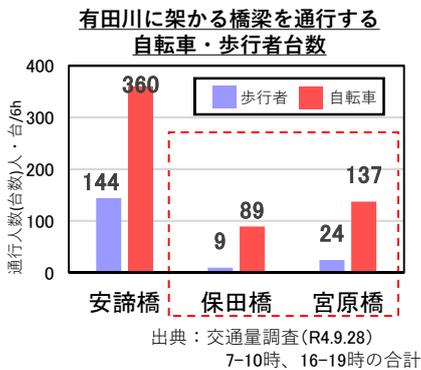
◇安全・安心な通学の実現に寄与

- 有田市では、中学校の統合が計画（令和6年4月開校）されているが、有田川を渡る橋梁は幅員が狭く、歩行者と自転車が混在し、危険な状態となっています。
- 今回、有田海南道路の有田サンプリッジが開通することにより、幅員の広い自転車歩行者道が確保され、通学時の自転車及び歩行者の安全性向上が期待されます。

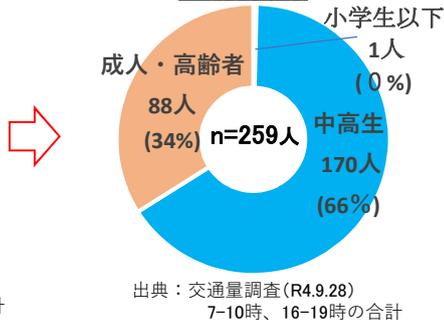
有田市内の中学校4校が統合



有田川に架かる橋梁の利用状況



保田橋・宮原橋の歩行者・自転車の年齢層割合



幅員の広い歩行空間の確保



地域の声

- 統廃合により、保田・文成中学校の多くの学生も有和中学校へ、有田川を渡河して通学する予定です。
- 有田川に架かる保田橋等は、歩道の幅が狭く、危険なため利用しにくい状況です。有田サンプリッジは歩道が広いので、保田学区・文成学区方面からの通学する生徒にとって安全性の高い通学ができるようになると考えています。
 (有田市教育委員会) 和歌山河川国道事務所ヒアリング調査(R4.10)



期待される整備効果

◇救急搬送の道路ネットワークの強化

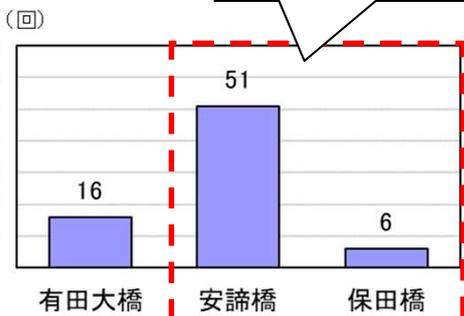
- 有田市消防本部では、年間約1,300件以上の救急出動がありますが、現地によっては、保田橋が最短ルートであったとしても、車道幅員が狭く、交通量が多いことから、遠回りとなる安諦橋などを使い搬送するケースが数多くありました。
- 有田サンプリッジの開通により、車道幅員の確保された最短ルートが確保され、救急搬送の道路ネットワークの強化が期待されます。

有田市消防本部からの救急搬送ルート



有田サンプリッジへの転換可能性がある搬送件数

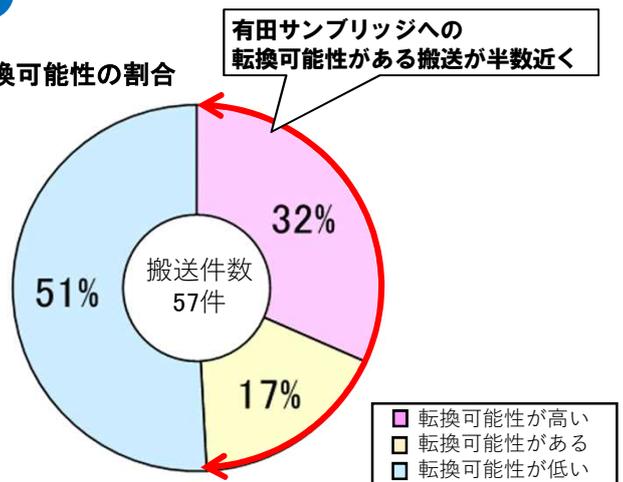
・救急搬送時の有田川渡河する橋梁の通行回数



※出典：救急車ブローブ (R4. 9. 16~R4. 11. 17)
有田市消防本部における救急車2台の走行履歴による算出結果

救急搬送時において、概ね約57回/月、有田サンプリッジ付近の有田川渡河部を横断

・転換可能性の割合



※ 転換可能性が高い：保田橋または迂回して安諦橋を利用した救急搬送
転換可能性がある：搬送経路の一つとして有田サンプリッジが考えられる救急搬送
転換可能性が低い：安諦橋利用が最短の救急搬送

消防署の声

- 有田市消防本部から通報を受けて現地に向かう際、保田橋が最短ルートとなる場合がありますが、幅員が狭く危険なため、交通量が多い日中は安諦橋まで迂回することがあります。
- 今後、高齢化がさらに進展する中、特に緊急を要する搬送も増えると予測されます。有田サンプリッジができて、円滑な搬送ができるようになることを期待しています。(有田市消防本部)



和歌山河川国道事務所ヒアリング調査 (R4.10)

期待される整備効果

◇災害時の交通機能の確保

- 有田川河口付近では、南海トラフ巨大地震発生時、津波による浸水が予測されており、緊急輸送道路である国道42号が通行不能となる可能性があります。
- 有田サンプリッジの開通により、阪和自動車道有田IC、国道42号を通過する新しい緊急輸送道路ネットワークが確保され避難ルートや、防災拠点へアクセスが期待されます。

広域図



浸水範囲イメージ図



※和歌山県HP 南海トラフ巨大地震の津波シミュレーション動画より抜粋引用

防災拠点と緊急道路ネットワーク (有田市街拡大)



地域の声

- 南海トラフ巨大地震による津波浸水が発生したときには、緊急輸送道路として有田川に架かる橋(有田大橋)が使えないため、避難ルートや防災拠点へのアクセスが困難となり、災害時における安全性が懸念されています。
- 有田サンプリッジが整備されれば避難ルートが確保されるため、地域の安全性が向上します。

(有田市経営管理部防災安全課) 和歌山河川国道事務所ヒアリング調査(R4.10)

